

第9回安曇野市観光振興ビジョン有識者会議 会議概要

- 1 会議名 第9回安曇野市観光振興ビジョン有識者会議
- 2 日時 令和4年8月24日 午後2時から 午後3時30分まで
- 3 会場 豊科交流学習センター「きぼう」多目的ホール
- 4 出席者 宮田弘康委員（会長）、白澤勇一委員（副会長）、中澤美穂委員、降旗治喜委員、川崎克之委員、松元久委員、鶴飼博将委員、米澤章雄委員（8名/12名）
- 5 担当課出席者 商工観光スポーツ部 野口部長、観光課 下里課長、高野係長、丸山係長、由井係長、小林係長、黒岩主査、延本主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和4年8月25日

協 議 事 項 等

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事 (1) 令和3年度事業評価検証と令和4年度事業計画に係る評価について
- 4 その他
- 5 閉会

【内容】

- (1) 令和3年度事業評価検証と令和4年度事業計画に係る評価について

主要施策1-1【自然資源の保全】 総合評価：A

●**燕岳キャンプ場トイレ整備事業【評価：A 7名】**

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・燕岳稜線上の市所有公衆トイレについて、環境負荷及び臭気の低減、快適化を目的に改築工事に着手。令和3年度は既設トイレの解体を実施、令和4年度に建築工事を完了する予定。

<委員>

意見なし

主要施策1-2【自然資源の活用】 総合評価：A

●**遊歩道維持管理と作業ボランティア【評価：A 7名】**

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・ボランティアによる草刈等を実施。
- ・令和2年7月、令和3年8月の豪雨により被災した御宝田水のふるさと公園について、令和3年度に園路の復旧を実施。令和4年度に流入土砂の除去を予定。

<委員>

御宝田の公園のことか。認知されていないのでPRが必要。

<会長>

今回は作業ボランティアについての評価。実質的な管理は観光課か？

<事務局>

観光課と都市計画課で行っている。連携を取りながらPRも行っていく。

●**英語登山ガイドの養成【評価：A 5名、B 2名】**

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・海外プロモーション協議会事業として「安曇野市地域通訳案内士」を養成。
(合格者：シティーコース9名、ハイキングコース3名)

<委員>

自分が所属している安曇野案内人倶楽部に英語ガイド8名が加入した。意欲的に取り組んでくれており、人材発掘を評価する。

<委員>

人材育成は観光振興にはそぐわないのでは。

協 議 事 項 等

<事務局>

旅の付加価値を高めることと、地域に雇用を生むことから観光課としても重要視している。次期観光振興ビジョンにも今までの取り組みを盛り込む中で、ガイドの育成に伴う資金やガイドの活用、事業者とのマッチング等が課題になっており、観光協会とも連携を取り進めていく。補足として、アドベンチャーツーリズムについても検討しており、本年度スイスで行われるワールドサミットに地域通訳案内士の講師と事務局で参加し勉強をしていく。その中で、このガイド養成の取り組みをしっかりと行っていきたい。

<会長>

事務局が言うように地域の雇用を促進することに寄与するという点もある。観光庁も9月に入国者制限を緩める動きがあり、コロナ終息後の外国人観光客を受け入れられるようにしていく必要がある。

●温泉を利用した観光客誘客 【評価：A 4名、B 3名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・「しゃくなげの湯」「湯多里山の神」「八面大王足湯」などの温泉施設を活用した観光誘客を充実。(利用者は、前年度を上回った)
- ・「しゃくなげの湯」の指定管理期間満了に伴い新たな募集を実施。
(令和4年4月より引き続きユアーズ静岡に指定管理を依頼)

<委員>

温泉に限った話ではないが、マイクロツーリズムのような近隣からの誘客方法は？

<事務局>

市独自の宿泊応援券や安曇野あんしん旅を観光協会と協力している。また、SNSやHPでの発信も行っている。動画を作り、YouTube やデジタルサイネージを使って安曇野を想起してもらえるような取り組みをしている。

<委員>

マイクロツーリズム視点での手法は行っていない？

<事務局>

県民割や商工会の新そばと食の感謝祭スタンプラリー等で県内の方にも周遊していただいた。

●登山道等整備事業 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・北アルプス南部地区の行政・山小屋等で組織する登山道等維持連絡協議会を通じて、各山小屋への維持補修支援を実施。
- ・北アルプス南部地区の関係者で協議し、入山者より令和3年度から登山道整備、維持、補修等に伴う協力金徴収の実証実験を開始。
(令和3年度は9/18～10/18、令和4年度は4/27 から実施)

<委員>

入山料は環境保全への協力金であると市としても打ち出してはどうか。山小屋等への補助金を増額してはどうか。

主要施策1-3【自然環境への配慮】 **総合評価：A**

●有明山神社内に登山者用駐車場を整備 【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・しゃくなげの湯東側に登山者用臨時駐車場を整備し供用を開始。
- ・7月中旬から10月中旬、中房線宮城ゲート付近で誘導員を配置し駐車場と路線バス等の案内を実施。

<会長>

しゃくなげの湯と有明山登山者用の駐車場は同じ場所なのか？

<事務局>

同じではない。昨年度の評価シートを踏襲しており、表題がそのままになっている。

<会長>

表題は「登山者用駐車場の整備」に修正する。

●自転車利用の促進【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・自転車活用推進計画を策定。
- ・受入体制の充実を目的にサイクリングオアシス協力店舗を登録。（令和3年度は61店舗が登録）

<委員>

EVの推進等も視野に入れては。

<委員>

自転車利用の促進には大賛成。しかし現実問題として拾ヶ堰のサイクリングロードは住民が生活で利用しており、安心して景観を作り楽しみながら牧歌的に走れる状態ではない。先に既成事実を策定するような今の計画はどうお考えか。

<事務局>

ご意見承る。参考までに、現状市では自転車活用推進計画に基づき都市建設部と市内に3つのモデルコースを設定している。これらを使って市民の皆様にも自転車に親しみを持っていただきたいの思いで取り組んでいる。また、新しく整備する道路は拡幅していく予定だが、既存の道路には至らない部分があることも認識している。少しでも安全に走れるように検討している。

<委員>

山麓線のCコースが特に危険。車の理解が無い。スポーツ推進課と連携を取り注意喚起ということも含めて市民に関心を持ってもらえるよう、告知をしていくべき。

主要施策2-1【「農」や「里山」のある暮らしの維持・継承】 **総合評価：A**

<会長>

主要施策2-1の内、光城山1000人SAKURAプロジェクト以外は、主管部署へ移管したため今回は評価しない。

●光城山1000人SAKURAプロジェクト【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・山トレイルコース造成に向けて調整を検討

<会長>

本年度もやるのか。

<事務局>

SAKURAプロジェクトに関しては市民生活部が全体を統括している。観光課はその中で光城山の利活用を施設担当が行っている。

また、東山トレイルコースの実地調査等のたたき台を作っている段階。継続してやっていく。

主要施策2-2【地産地消の促進】 **総合評価：A**

●地元生産農家の食材を使った食の魅力発信（安曇野林檎ナポリタン他）【評価：A 4名、B 3名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・「安曇野林檎ナポリタン」参加店舗、令和3年度1軒減。
- ・PR用チラシ、ポスター、のぼり旗を作成、観光案内所、観光施設等に設置。

<委員>

需要の高さが不明確。参加店舗数の進展が無い。地産地消の食発信のPRも必要。

<会長>

令和3年度やった取り組みとしては、新たに販促物を作ったということか。

<事務局>

補足で、昨年度情報発信をしていく中で、青森県弘前市からうちでも林檎ナポリタンをやってみたいという問い合わせがあった。安曇野市の取り組みをお話し、弘前市でも弘前産りんごを使った林檎ナポリタンが始まった。たとえばりんごのご当地同士でキャンペーンを一緒に行うなど、共同発信ができないか現在考えている。

<会長>

その件は実績に書くべきだったのでは。弘前との交流もできると良い。

<委員>

参加店舗数でつまずいているのでは。参加店舗の意識が変わるような取り組みもして欲しい。

主要施策 3-1 【歴史・伝統の継承・活用】 総合評価：A

●廃線敷施設の活用 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・JRのハイキングイベントにハロウィンイベントを併せ「APPLE HALLOWEEN in 廃線敷」を実施。
(約1,000人参加)
- ・明科公民館を主会場とした安曇野ジオロゲイニングを開催。(193名参加)

<委員>

意見なし。

●屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト 【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・安曇野環境フェアへの参加、安曇野屋敷林フォーラムを開催。(58名参加)
- ・屋敷林の保全活動として穂高地区曾根原家住宅で落ち葉拾いボランティアを実施。

<委員>

管轄は文化課では。観光振興に結び付いていないのでは。

<事務局>

安曇野ブランド創出プロジェクトが発端のため観光課になっている。また、まちあるきも行っており、安曇野の景観を保全し、活用していくという活動を観光課が事務局になって行っている。

<委員>

このプロジェクトの一員としてお話しすると、安曇野の景観は誰のものかという点で、屋敷林は安曇野の景観の一つである点でいうと観光につながるのでは。個々で見ると個人の所有であり、直接的な観光振興ではないが、全体的な景観づくりという点から観光の体力づくりの要素があるので、観光振興ビジョンに加えてしかるべきだと考える。

<委員>

それは認めるが、だとするとなおのこと保全すべきで観光課で扱うのではなく文化財の保護等適切な部課で扱うべきなのでは。

<会長>

小布施のオープンガーデンのようにやれないだろうか。文化財は個人のお宅なのでできないのでは。併せて宿題として事務局で検討できないか。

<事務局>

補足して、行政としては景観やオープンガーデンというものは都市建設部都市計画課で緑化推進を行っている。観光課で所管しているのは当初の安曇野ブランドの一つとしてできたものであるという点からだが、連携を取りながら行っていく。

<会長>

観光客の大半は車で来ているので、観光振興を考えると、屋敷林と北アルプスが綺麗に撮影できる駐車可能なスポットに案内板を立てるなど、市として今後できるのではないか。

<事務局>

観光協会インスタグラムのフォトコンテスト、安曇野百選プロジェクト等で市民目線、メンバー目線でのフォトスポットをホームページで発信している。

●安曇野神竹灯 【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

12月3日～5日に開催。(3日間で約25,000人来場)

<会長>

使用済の竹はどうしているのか。

<副会長>

2～3年で廃棄している。劣化が激しいため毎年大分県竹田市から3,000本ほど仕入れている。

主要施策 3-2 【芸術・文化の活用・連携】 総合評価：A

●安曇野アートライン事業 【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・安曇野アートライン推進協議会の構成自治体として事業に協力。

【参考】

- ・安曇野アートラインガイドブック（A5小冊子×5,000部）を作成。
（管内観光施設、学校施設等と加盟館17館に配布並びに設置）
- ・出張美術館「美術館を学校で楽しもう」を白馬村立白馬中学校にて開催。
（令和3年10月18日・19日の2日間、鑑賞者数：生徒206名、協力施設：12館）

<委員>

安曇野アートライン自体の認知度が低い。若い世代に向けて観光協会のInstagramアカウントで美術館の情報発信を積極的にやっていくべきでは。

<事務局>

安曇野アートラインのホームページで各館の紹介をしている。協議会は加盟館や所在地の自治体の持ち回りで運営している。

<会長>

カッコ書きで事業主体は市（観光課）でないため評価しない、とあるが、行政も協議会の構成に入っているのであれば評価すべきでは。観光課が所管であれば評価する。カッコ内は削除する。

主要施策 3-3 【地域産業の活用・連携】 総合評価：A

●天蚕や有明紬などの伝統産業 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・天蚕振興事業として募集イベントを開催。
（参加者：機織ワークショップに36名、糸掛けアートのワークショップに70名）
- ・天産振興会へ後継者の育成と生産量の確保のための支援を実施。
- ・機織り後継者育成事業の1期生（令和2～3年度）5名が修了。
- ・穂高天蚕糸を国内外へ認知させるため、将来の担い手となりうる服飾系専門学校と天蚕振興会との交流事業として、天蚕糸を使用したビジネスプランの企画造成を実施。

<委員>

やまこの学校も市民が意欲的に活動しており、明記しPRして欲しい。

<会長>

市としては天蚕振興会のみを天蚕として認めているのか。

<事務局>

天蚕センターは市の指定管理のため、そういった視点で天蚕振興会の活動のみ記載している。

<会長>

市の総合計画にも伝統産業は入っているのか。

<事務局>

地域ブランドの創出に含まれている。

<会長>

今回は市が行う事業の評価のため、やまこの学校の記載はしない。

主要施策 4-1 【コミュニティビジネスの支援】

主管部署へ移管のため評価しない

主要施策 4-2 【安曇野暮らしツーリズムの普及・啓発】

菅部署へ移管のため評価しない

主要施策 4-3 【移住希望者やリピーターとのネットワーク化の推進】 総合評価：A

●友好都市との交流 【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・FM江戸川に54回出演、安曇野市の魅力等を情報発信。
- ・友好都市の広報やHPで安曇野市の紹介を実施。

<委員>

意見なし。

●信州安曇野ロゲイニング 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・10月に開催。(193名参加)

<委員>

意見なし。

●信州安曇野ハーフマラソン 【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・コロナ過のため、オンラインマラソンを開催。(2,733名参加)

<会長>

令和3年度はオンライン開催、令和4年度はリアル開催(5,700人)と加筆する。

主要施策 4-4 【広域連携の推進】 総合評価：A

●観光関連団体と連携した観光キャラバンやパンフレット作成 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

日本アルプス観光連盟、北アルプスゆう浪漫委員会、信州まつもと空港地元利用促進協議会と協力し、観光プロモーション事業、首都圏等での誘客活動等に参加。

<委員>

意見なし。

主要施策 5-1 【観光関連産業の強化】 総合評価：A

●観光関連産業の強化 【評価：A：5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・市内事業者向けに観光協会・商工会合同の観光地経営セミナーを開催
- ・コロナ過の観光事業者を対象とした「宿泊施設応援給付金」「観光関連事業者応援給付金」「観光誘致地域応援券」「宿泊施設応援券(第3弾)」「ウイズコロナ旅行企画造成等支援」「安曇野あんしん旅キャンペーン」等の支援を実施。

<委員>

中長期的支援という観点から、事業者向けのセミナーや勉強会等への支援が不十分であるという認識なので、強化していただきたい。

●観光協会と連携した情報発信 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・「安曇野フォトコンテスト」入賞作品や公式インスタ掲載写真等、約150点を展示する写真展を開催。

<委員>

意見なし。

主要施策 5-2 【農商工観連携の強化】 総合評価：A

●農商工観連携の強化 【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・市観光協会にて、ワサビの収穫体験を組み入れた観光商品を造成。

- ・自転車を活用したサイクルロゲイニングを実施し、市内の名所・旧跡や飲食店等を巡るシステム（テーマイベント）を始動させた。

<委員>

意見なし。

主要施策 5-3 【安定財源の確保】 **総合評価：A**

●観光振興のための財源確保（入湯税など）【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・令和3年度から着手したに燕岳テント場トイレ整備や登山道整備を目的としたクラウドファンディングを実施。（全国から539件7,089千円の寄付を募る）
- ・本取り組みの進捗状況、山岳観光情報をfacebook、twitter「安曇野市山岳サポーターズ」で発信。

<会長>

クラウドファンディング等で財源を確保するなら、表題から“入湯税など”は消す。

観光基盤整備【観光推進体制の構築】 **総合評価：A**

●観光協会への運営・支援【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・情報発信や観光案内、ツアー企画・造成等の事業を委託。
- ・シェアサイクル事業、安曇野周遊バス、まつもと空港シャトル便の運航、二次交通の整備、宿泊施設予約システム運用等を支援。

<委員>

意見なし。

●安曇野市海外プロモーション協議会【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・英語の登山ガイド養成、天蚕糸の振興、自転車を活用したまちづくりの推進、滞在型観光への転換と関係人口の拡大について推進。
- ・まちのベイトHPへの情報掲載、天蚕動画作成。

<委員>

意見なし。

●山岳観光推進実行委員会・山岳関係事業者との連携【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・山岳観光推進実行委員会は、コロナ過のため中止したが、ライトユーザー層や若者層などをターゲットに、YouTubeを活用したプロモーションや里山やまちなか観光を含めたPRを実施。

<委員>

ターゲットは健康志向のライトユーザー層にしてはいかがか。

観光基盤整備【観光基盤の充実・強化】 **総合評価：A**

●観光施設の公衆トイレなどの維持管理【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・穂高駅前、穂高支所前公衆トイレの洋式化改修を実施。
- ・かじかの里公園キャンプエリア、プラザ安曇野に無料Wi-Fiを設置。

<委員>

意見なし。

●周遊バスの運行【評価：A 5名、B 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

観光協会実施事業

- ・令和3年4月24日（土）から11月3日（水）までのうち70日間運行。

- ・令和4年度は季節運行（4月29日から9月25日のうち52日間）を計画。
- ・「らくらくタクシー」を運行。（実績：令和3年度78人、令和2年度13人）

<委員>

意見なし。

●シェアサイクルシステム 【評価：A 7名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

観光協会実施事業

- ・利用実績値 令和3年度利用台数：1,881台（利用総額：1,008,413円）

<副会長>

参考までに、今年度実績はすでに令和3年度を上回っている。コロナ禍ということもあり、また認知度も上がってきている。その分周遊バスの利用は減っている。

50台で運用しているが利用率・利用時間が上がってきている。

観光基盤整備【イベントを通じた来訪戦略】 総合評価：A

●信州安曇野田んぼアート 【評価：A 2名、B 2名、C 2名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・令和3年6月19日～9月26日まで開催。
- ・令和4年度は開催しない。

<副会長>

実行委員に入っている。先日実行委員会が開催され令和3年度の決算総会を行った。そこでコロナの煽りを受け採算が取れないことや、会場問題から解散が決定した。

●安曇野花火 【評価：A 6名、B 1名】

【令和3年度実績・令和4年度計画】

- ・令和3年度は悪疫退散安曇野花火として市内3カ所に分散し11月に無観客で実施。
- ・令和4年度は8月14日に入場者を2,000人に限定し実施。

<委員>

意見なし。

<会長>

これにて各項目の評価を終了する。欠席者4名分も併せてまとめ、次回の会議で発表する。

(2) その他

<事務局>

次回会議は、令和4年9月16日（金）午前10時から開催する。

（終了）

※ 会議概要は、原則として公開します。

※ 個人情報保護の観点から、委員の氏名は非公開とした。